



THE SUGGESTION

提 言

中小企業組合総合研究所機関紙

2月1日

第193号(2022年)

提言・約束事

1. 基本的には読者参加型の提言新聞とします。併せてニュース解説や話題を提供します。
2. 投稿の場合、社会規範に反するものは受け付けません。原稿掲載はスペース等の関係もあり編集者の判断にお任せ下さい。

発行所

一般社団法人 中小企業組合総合研究所

〒533-0032 大阪市東淀川区淡路3-6-31 協同会館アソシエ2F

電話 06-6328-5577 FAX 06-6328-5588

URL <http://www.kumiaisouken.com/>

コロナ禍、貧困、格差—— 11・28 東京集会 生きづらい世の中を本当の 労働組合運動で変えよう!!



関生再生委員会 代表 武建一氏

2021年11月28日、日本教育会館(東京都千代田区)で「コロナ禍、貧困、格差——生きづらい世の中を本当の労働組合運動で変えよう!! 11・28東京集会」(主催:労働組合つづきの大弾圧をゆるさない実行委員会・東京)が開催された。コロナ禍での貧困と格差の深刻化は、かつてないレベルに到達し、産業構造の急激な変化と雇用の劣悪化や破壊に、既存の労働組合はほとんど対処できていない。全日本建設運輸連帯労働組合 関西地区生コン支部(関生支部)が半世紀の歴史の中で、命がけの闘いによって切り開いてきた関生型産別労働運動はこの危機を乗り越える可能性がある。本誌に必要とされている労働組合運動とは何か。そして今回の大弾圧の過程で何が起きたのか。昨年、関生支部の委員長を辞した武建一氏に何が「労働者」としての決起をもたらしたのか。

この関生がどういう性格の労働組合かという事もありますが、考え方が違ってもいいです。考え方の違っている人が団結するためのものが要求です。労働組合は共通した要求で団結するのです。他の日本の労働組合は、その産業の中の本勤労働者を中心として組織しているのがほとんどです。ですから会社を辞めれば組合員ではなくなります。会社の中の組合、これを企業内組合といいます。関生は企業の枠を越えて、生コン産業の労働者を横断的に結集する、大衆性の強い産業別組合です。

それから、組合員と家族の生活を守るのは当然の事ですが、それだけに限定しない、階級的な性格を持っています。階級というのは「支配している者」と、「支配されている者」の二つの階級が存在して

労働組合の社会的任務

さて労働組合の社会的な任務は何かという事です。これは経済闘争です。これは賃金の引上げ、労働条件の改善、雇用保障、労働者の福祉の充実、こういう事を経済闘争でやるわけです。

そして政治闘争です。今度の弾圧で権力側は「アメリカがどうだとか、日本の政治がどうだとか、そんな事は労働組合の埒外の話ではないのか」と言いました。ところが、高い税金を取られる、保険料をどんどん取られる、



委員長交代劇の本質

果的にそれに従っているようになってきているのは、思想的に分断されているのです。多数が団結して少数を打倒し、新しい資本主義とは違う社会を作ると

2020年10月18日に関生支部は定期大会を開きました。大会の終了後、突然に持ってきた「決意書」には、「これからは武委員長を除いて、他の人たちによって集団指導をする」とありました。私(武)を除く理由がどこにあるのかという事も説明しませんが、関生は私が産んで育てたような組織ですから、分裂的な事はやるべきではないと、と我慢をしていました。

ところが、彼らのする事はひどい事ばかりでした。例えば、組合員減少で組合費が月に100万円もないにもかかわらず、1500万もの大金を使うのです。当然赤字です。これはどこから調達するのか。今まで血を流し、汗を流し、作り上げてきた関生の財産を切り売りしようとしているのです。50周年を記念して建てた会館も売ると言うのです。これは、組合員のカンパのみならず、中小企業から支援していただいていた会館です。「関生の過去の歴史を振り返る。厳し

(2面に続く)

季節折々
岸田総理大臣
本性をあらわす

人いわく「国民の意見をよく聞く」とのことです。であれば、沖縄辺野古基地建設反対を求めている県民の意見を聞き、中止すべきではないですか? 第6波のオミクロン株の感染者が多いのは米軍関係者が多い沖縄、岩国です。日米地位協定を見直し、日本の領土での傍若無人的米軍を抑制することができる政治をすべきではないですか? 危険な原発再稼働を阻止すべきではないですか? 財務省の公文書改ざん、隠蔽の犠牲者となった赤木俊夫さんの奥様の訴えを金で解決という姑息なことでもなく、情報公開、関係者の処罰をすべきではないのですか? 結局、岸田総理は、国民には犠牲を、アメリカと財界の意見で国の行く末を実行しているのではないですか?

日米軍事同盟に加えて、今回オーストラリアとの軍事同盟を締結しています。中国の封じ込め政策、戦争挑発、軍事力増強(10兆円以上)、敵基地先制攻撃、憲法改悪。これらは戦争政策です。日本国憲法前文の「国際平和、他国との信頼関係の構築」と憲法9条の「陸海空の戦力不保持」「交戦権の否認」、これに明白に違反する行為です。

戦争で犠牲を受けるのは国民です。税の引き上げの影響を受けるのも国民です。軍隊への徴兵で殺されるのも国民です。平和憲法を空洞化し、関生支部への弾圧では、憲法28条への先行実行のうえ、条文を改悪する許しがたい内容です。これが岸田総理のいう「新しい資本主義」ではないですか。許してはなりません。

(武建一)

(一面からの続き)
支援する側を馬鹿にするのと緒ではないでしょうか。「なぜそういう事を言うのか」「そんな間違った事はやめろ」と言っても、彼らは止めないのです。それどころか「我々はストライキに反対したが委員長が独走した」とまで言い出す始末です。実際には執行委員会や大会などで議論をし、承認してやったものです。そのように責任を転嫁するような事を平気でやるのですね。さらにひどいのは金銭に対する捉え方です。と

ある地域で、毎月各社から一定の金額を貰っていた幹部がいました。それから、2021年大会の直前の10月6日に執行委員会で、突如として「組合の中に会長という制度を作る」と提案されました。後で聞くと、私(武)を会長にまつり上げ、名前を利用しようとしていたようです。なぜ、そんな事に私がひっかかる必要があるのか。ですから、私は委員長を辞して、関生再生委員会を作り代表になったのです。

新たな枠組と今後の展望

批判するだけでは問題の解決にはならないので、皆さんに新しい提案をします。今の協同組合は、月に工場2800㎡出ています。稼働率にすると10%少しです。それでも利益が出ています。これは売り値段が無茶苦茶に高いからです。平均価格が2万1800円なので、利益が出ているのです。普通の製造業において10%少しで利益が出るはずがありません。ですから私は、1万㎡×1万5000㎡が工場に必要だという提案をしています。それから、新しい協同組合には、製造業、輸送業、骨材業者、労働組合など、これらの人たちが寄って

値段の問題や賃金の問題、運賃の問題などを総合的に議論していけるような民主的な仕組み、協同組合を新しく作ろうという事を提案します。実際に新しい協同組合はスタートしていますが、それをきっかけに大きく事態を変えて行こうと取り組みをしています。幸い「武さんだったら投資してもいいですよ」と言ってくださる方もおられます。その方も体を張って私と一緒に戦ってきた方だからです。ですから、これらの夢を実現する、またともにするという事は、そんなに遠くない時期に実現しないといけないと考えています。

元昭和女子大学教授 木下 武男氏



労働運動史における 関生支部の位置

関西生コンの運動は、日本における「本当の労働組合」の試みです。今までこの試みは4回ありました。①まず1897年に高野房太郎によつて作られた「労働組合期成会」。これが職業別労働組合の萌芽ですが、これは総同盟による川崎三菱造船所争議です。この争議が天王山の意味を持ちます。これも弾圧されますが、ここで産別労働組合の試みが出てきます。③三つ目は全自動車労働組合による1952年の日産争議。これは非常に志の高い争議でしたが、潰されて行きます。④そして関西生コンが1965年に結成されて産別労働組合として確立します。前の3つは全て潰され、残っているのは関

西生コンだけです。残っているから弾圧されたという事もありますが、しかし必ず再生するのが歴史の法則です。

私が関西生コンを産別労働組合として「唯二」だと思っている理由は、本当の労働組合とは何かという事の理解に関わってくるからです。これは団体交渉ではなく、共通規則という企業を越えて競争を規制できる基準は何なのかという事が、関西生コン以外にはないからです。したがって、今の攻撃というのは、日本の労働運動史上、初めての真の産別労働組合への壊滅行為です。

関西生コンの 2つの戦略

決して踏み外してはならない、踏み外してほしくないという事が二つあります。「産別労働組合の戦略」と反独占の「協同組合戦略」です。これは中小業者との「二面共闘路線」です。この二つの路線で、現在の年収800万円、年間休日125日プラス有給休暇という労働条件を勝ち取ることが出来たのです。

「産別労働組合の戦略」というのは、労働組合

は労働者間競争を規制できるという事です。実はマルクスとエンゲルスこそが労働組合の誕生を初めて目撃した人なのです。エンゲルスは「労働者相互間の競争こそ現在労働者が置かれている状態で最も悪い面であり、資本家の鋭い武器なのである」と言っています。競争しているから資本家の言いなりになると言っているのです。資本主義では労働力を商品化して市場で売買されますから、必然的に競争が起こるわけです。では市場で労働力商品が売買されるのをどうすればいいのか。それは規制すればいいのです。マルクスは「労働組合はその競争を止揚し、労働者間の結合で、これに代わらせようとすることを目的とする」と言っています。つまり競争で労働者の状態が悪ければ、競争を規制すれば良くなる。それが労働組合なんだという事です。非常に単純な事です。これが労働組合の神髄なんです。これがない労働組合はダメです。

どのようにして 競争を規制するのか

これは、実は関生の歴史が示しています。これが関西生コンの業種別職種別賃金です。なぜ関生が唯なのか、これは年功賃金ではないからです。

年功賃金は差別の体系ではないのですか。年齢、勤続性差、能力で差別される。そうではなくて、団体交渉で決めた事はこうです。それが日本の労働運動ではなかなか受容されてこなかった。同じ仕事だから同一賃金なのが世界共通の理解です。ところが日本では同じではない。年齢、勤続、性差、能力によつて一人ひとり違います。その時に関西生コンは、生コンの運転手は幾らというのを出して、そして今年年収800万円になつて行くわけです。それが本

が本場の労働組合の神髄なんです。それから、産業の経営者に基準をらせるという事です。これは企業を越えた団体交渉をやるという事です。産業別労働組合だと得て得てそう思われがちですが、実態は企業別組合が産業別交渉してきたとか、対角線交渉だとか、集団交渉だとか、統一交渉だとか、いろんなやり方がありますが、きちっとした支部の執行部が、一つひとつの企業体ではなくて、関西生コンの業界として、団体として

川柳人 乱 鬼龍氏



武さんは今回の件で、「二組合員として関生再生のために頑張る」と言いました。私は足尾鉍毒事件の地元に生まれました。田中正三が谷中村(やなかむら)に入ってくる時、指導者としてではなく、「村民として谷中村の残留民と共に闘う」という事で入って行くのです。荒畑寒村の『谷中村滅亡史』で、支援者が正三に「田中さん、こんな負け戦をやっている何になるのですか」と聞いたのに対して、正三は「これは火事場の焼け跡の火の

れが本場の労働組合の神髄なんです。それから、産業の経営者に基準をらせるという事です。これは企業を越えた団体交渉をやるという事です。産業別労働組合だと得て得てそう思われがちですが、実態は企業別組合が産業別交渉してきたとか、対角線交渉だとか、集団交渉だとか、統一交渉だとか、いろんなやり方がありますが、きちっとした支部の執行部が、一つひとつの企業体ではなくて、関西生コンの業界として、団体として

取り決めしてしまう。これが世界標準なんです。関生がおかしいのではなく、日本がおかしいのです。関生は世界標準の事をやっているだけという事がとても重要です。

関生の歴史に 学びながら

苦難の歴史の中でつかんだ戦略を、私たちも、そして現執行部もこの戦略を学び、これから離れない事が重要だし、これが日本

のこの時代状況、これだけ激動と根本的変革を迫るような大きな時代の中で、何を見るのか、見ないのか。そして見たら行動するのか、しないのかという事が一人ひとり問われていると思います。

伊達判決を生かす会

共同代表 土屋 源太郎氏



1965年当時の生コン業界は、独占資本による下請け企業体系、そしてそこに携わっている社員は劣悪な労働条件の中にありました。それを武さんが関生を立ち上げ、労働者の処遇改善や賃上げを進める事によって大きく変わってきました。そういう闘いを武さんが本気でしてきて、本来、

弾圧の意味は、日本で唯一のこの労働組合を権力は壊滅しようとしている、これはとても大きい事です。だけど関生には歴史があります。歴史を抹殺することはできません。我々は歴史から学べば、関生のような労働組合を業種別、職種別につくる事ができるはずなんです。だから、いろんなところで関生の歴史に学びながら、武委員長をやつてきたことに学びながら、関生運動をあらゆる業種で作り上げていく事が可能だと思えます。

関西生コン支部武委員長解任問題についての見解

元昭和女子大学教授 木下武男

昨年10月10日に行なわれた全日本建設運輸連帯労働組合関西地区生コン支部(関生支部)で突然の執行委員長辞任を表明した武建二氏。突然の辞任に至った背景、経過、そして問題点などについて、労働社会学者の木下武男氏が見解を発表し、一連の騒動の問題点を指摘した。

武建二委員長が突然、解任させられました。関生弾圧反対を闘っている者たちには大きな事件でした。指導者の交代は労働運動ではありふれたことですが、注視すべきは、会場から実力をもって放逐されたのです。円満な当の労働組合で、その指導者が異常な事態で解任させられたことです。

役員交代のルールとマナー

異常な交代劇はつぎのような大会の場面が如実にあらわしています。10月10日に支部大会が開かれ、委員長の挨拶が始まりました。しばらくすると発言が制止され、マイクのスイッチが切られました。そして、委員長は3、4人の者に取り囲まれ、会場から追い出されたのです。現役委員長が大会

免・交代を要求することができるとは。もし拒まれたら、組合規約に沿って大会で多数をもって罷免すればよいのです。しかし、今回の委員長

世代交代ではなく 委員長排除

第一は、委員長解任は世代交代だと説明されていますが、本当は武委員長という点です。そもそも執行部の世代交代は、武委員長を含めた組合内では了解事項でした。組合外の者でも次期の委員長は誰々らしいとの情報もどいていたくらいです。したがって、交代する側と降りる側との、交代時期や引継ぎなどの話し合いがなされていくと思われていました。

武委員長の長期勾留のため、話し合いもできませんでした。2020年5月29日に保釈となりました。ところが、同年10月18日の関生支部の大会が終った後、突然、委員長は執行部から排除されたのです。

執行部の「決意書」が武委員長に突きつけられ

の解任はこのような経過を踏んでいないのです。それは、やましいことがあったからだと思わざるを得ません。今回の解任問題については外部の私にでも、異常と思われる点が多々あります。組織内の問題に立ち入らなくても、つぎの三点について強い疑念をもっています。

武委員長の功労

第二は、解任があったとしても武委員長にはそれなりの処遇があつてしかるべきだったのではないかと。この点です。関西生コン支部の歴史は産業別労働組合についての実践的な教科書もなく、ただ「ひとの痛みは我が痛み」との信念にもとづいて切り開いてきたものです。私の「労働組合と何か」(岩波新書、2021年)で詳しく述べたように、まさに血と汗と涙の歴史のなかで今日の

第三は、反弾圧闘争の高揚のさなかの解任は利敵行為ではないかということです。戦後労働運動は決定的な衰退の局面にあります。それは企業別組合と資本による労働者の統合の結果ですが、根本は、労働運動側が産業別組合の創造という対抗的戦略を打ち出し得ていなかったからです。関生支部への弾圧は産業別組合であるがためですが、

反弾圧運動の高揚での利敵行為

同時に重要なのは、弾圧を通じて関生支部への大きな注目と、産業別組合への関心が高まっていることです。ここに労働運動の象徴であり、労働運動の再生の現局面の焦点があります。

すでに関生支援の動きは広がっています。支援する会も、大阪・滋賀はもや運動の高揚を考えれば、何故今なのかとの疑問を禁じ得ません。あといくらかの期間、委員長

木下武男氏 最新著書

『労働組合とは何か』

岩波新書 定価900円(税別)

日本では「古臭い」「役に立たない」といわれる労働組合。しかしそれは「本当」の姿なのか。世界を見渡せば、労働組合が現在進行形で世界を変えようとしている。この違いの原因は、日本に「本当の労働組合」が存在しないことによる。社会を創る力を備えた労働組合とはどのようなものなのか。第一人者がその歴史と機能を解説する。



反弾圧運動の象徴的な存在になっているのが武建二氏です。武委員長は「キメンタリー映画」『棘2』が、幅広い呼びかけ人と多くの市民の参加によって各地で上映されていることから明らかにしています。私は労働運動の研究として以前から関西生コン支部の運動を注目し、研究してきたつもりです。その立場からみれば、世代交代の名の下に武建二氏を関生運動から追放する行為は、労働運動の歴史に大きな汚点を残すことになるに違いありません。反弾圧の運動は新しい執行部とともに進むことになりませんが、これらの疑念が消えることはないでしょう。多くの方々が、今回の事態に注目されるよう切にお願い申し上げます。



【木下武男氏 プロフィール】 労働社会学者。専門は、現代社会論・労働社会学。1944年福岡県生まれ。東京理科大学工学部、法政大学社会学部を卒業し、1975年に法政大学大学院社会学専攻修士課程を修了。その後労働科学研究所嘱託研究員や法政大学などで非常勤講師をつとめ、1999年に鹿児島経済大学(現・鹿児島国際大学)福祉社会学部教授に就任。2003年に昭和女子大学人間社会学部教授に就任。大学の担当科目は労働社会学、現代社会論などを歴任。専門は日本型雇用や若者の貧困と過酷労働の分析、女性労働論、労働組合論など。

著書に『日本人の賃金』(平凡社新書、1999年)、『格差社会にいだむユニオン—21世紀労働運動原論』(花伝社、2007年)、『若者の逆襲—旬報社、2012年』など多数。最新刊は『労働組合とは何か』(岩波新書、2021年)などがある。

セメントメーカーの現状と 大阪兵庫の生コン業界の歴史と 今後の我々の政策について

関生再生委員会代表 武建一

昨年 武建氏は56年間務めた全日本建設運輸連帯労働組合関西地区生コン支部(関生支部)委員長を辞した。一組合員として関生再生への奮闘を誓った同氏が、半世紀の労組運動を振り返るとともに、今後の闘う方針について語った。

(2) 近畿地区に於ける生コン 産業の歴史の概要について

【前号からの続き】

⑤この資本の攻撃に対し、1965年発足した関西地区生コン支部は、スタート時より企業の枠をこ

えた産業別労働組合で、5年間は思想的にはアカ攻撃を受け、賃金差別幹部への解雇、第二組合の優遇や、資本による差別、抑圧が続き、職場

ようになり、産業別賃金、雇用福祉の実現につながるものであります。

⑦この集団交渉に拒否の姿勢を示していた小野田セメント系と三菱系です

に労務管理者としてヤクザを入れるなど、労働者分断と懐柔策を実行して、闘う労働組合を無力化する攻撃です。解雇された幹部がオルグ団となり、組織の拡大、人権侵害への集中した取組み、統要求・統交渉・統行動統一妥結を基本にした闘いを展開しました。

⑥関生支部が主に組織していた1970年前半は、大阪セメント系4工場、宇部セメント系4工場、徳山セメント系4工場でした。1970年、武委員長への不当解雇は撤回され、職場復帰が実現したことで、背景資本との闘いで三菱鉱業セメント系の大豊闘争が1972年労働で勝利したこと、そしてこの勢いを背景に、1973年、14社18工場との初めての集団交渉の実現に成功します。集団交渉は中小企業同士の競争を抑制し、団結条件を高める

れを入れて5回以上も殺害されかかっています。

⑧1975年に中小企業政策を発表。それは、セメント、ゼネコン、大手資本との闘いを基本に、中小企業との関係は、不当労働行為をする企業とは断固闘うが、そうでなく共に不当労働行為排除の立場をとる企業に対しては二面共闘で闘うようになります。つまり「二面共闘」が成立するようになる、不況に強い関生の本領を発揮します。

⑨1977年、ヤクザ支配の淀川生コンに労働組合を公然化します。「ヤクザより強い組合」とか「行動が軍隊的」だとして、「全自軍」と呼ばれるようになります。

1979年に旧生コン会館を購入することになり、それからバス・タクシー・トラック・原発下請・新幹線保線労働者の組織化と多業種への拡大も前進し、1982年には3500名を擁する組織人員に成長します。この間、関生型運動が名古屋、静岡、東京へと拡大していき

工業組合との集団交渉での32項目の合意事項は、未組織労働者も拘束するものでした。

1982年、日経連による攻撃が本格化。「関生の運動は資本主義の根幹にふれる運動だ」「箱根の山は越えさせない」と権力導入し、工業組合の塩づけ、集団交渉をつぶすなどの攻撃がありました。この攻撃に日本共産党も加わり、関生支部への攻撃が集中します。共産党は「武は利権暴力集団」とレッテルを張り、大阪府民880万人に宣伝しました。関生支部は近畿2府4県の共産党事務所前での抗議宣伝を行ない、1983年の総選挙では村上弘幹部会議員を落選に追い込みました。

⑩敵は黙っていませんでした。1979年の武委員長は、あわや殺害寸前でしたが、反撃して勝利します。

1980年の大阪兵庫組合の横暴に我慢できず、千石社は生コン工場建設に着手することになります。おりしもこの時、生コン業界は構造改善事業下に入り、生コン工場の集約化を行なっていました。セメントメーカー各社は、千石社へのセメント販売を拒否する姿勢を取りました。これに対し千石社は公正取引委員会に提訴しました。この運動に、榎並幸一郎氏(世界産業株式会社)と提携協力して、自民党の政治家や上田卓三氏(部落解放同盟)の支援を受け、通産局、通産省との交渉を重ね、在阪セメント11社とのセメント納入に関する確認書が1982年11月30日成立しました。

2. 卸協同組合との関係では、手形でなく現金決済にするようになりまし

⑪千石社と世界産業生コン産業への進出(1980年)。生コン工場建設とセメント各会社、大阪兵庫の工業組合との関係。

1. 1980年、生コン工場(当時)株式会社千石は、タイコ千里工場に骨材納入していましたが、タイコ社は一方的に納入拒否してきました。タイコ社は「住友商事に変更させてほしい」という事でした(実態はセメントメーカーと工業組合、関生支部の圧力によるもの)。そこで大阪兵庫生コン工業組合の横暴に我慢でき

上記のような、千石社に対するセメント納入拒否については、セメント資本と大阪兵庫工業組合と千石社・世界産業両社による解決をみる。一方、1982年、関生支部は日本共産党との決別、権力弾圧の事情により、千石社との争いを解決することになりました。

3. この歴史が語ることは、現在の大阪兵庫広域生コンクリート協同組合の製品取引の現金化は、セメント納入拒否に対して千石、勅治氏と榎並幸一郎氏(故人)との協力のもと、セメントメーカー、大阪兵庫工業組合、関生支部の三位

一体となった攻撃に対し、千石氏、榎並氏の2氏が身を挺して闘った結果生まれたことが明白になったのです。この現金取引は長年にわたり、田中裕氏(故人)によって「出荷数量をはるかに上回る手形を実態的すること」で現金化したと言っていました。今回初めてその真相が当事者の証言で明らかになったのであります。労働組合は政党との関係では支配や介入を受けず、中立性を確保することが大事であること、中小企業とは二面共闘、二面共闘が必要であること、経験を教えています。(以下次号に続く)



⑥関生支部が主に組織していた1970年前半は、大阪セメント系4工場、宇部セメント系4工場、徳山セメント系4工場でした。1970年、武委員長への不当解雇は撤回され、職場復帰が実現したことで、背景資本との闘いで三菱鉱業セメント系の大豊闘争が1972年労働で勝利したこと、そしてこの勢いを背景に、1973年、14社18工場との初めての集団交渉の実現に成功します。集団交渉は中小企業同士の競争を抑制し、団結条件を高める

⑩敵は黙っていませんでした。1979年の武委員長は、あわや殺害寸前でしたが、反撃して勝利します。

1980年の大阪兵庫組合の横暴に我慢できず、千石社は生コン工場建設に着手することになります。おりしもこの時、生コン業界は構造改善事業下に入り、生コン工場の集約化を行なっていました。セメントメーカー各社は、千石社へのセメント販売を拒否する姿勢を取りました。これに対し千石社は公正取引委員会に提訴しました。この運動に、榎並幸一郎氏(世界産業株式会社)と提携協力して、自民党の政治家や上田卓三氏(部落解放同盟)の支援を受け、通産局、通産省との交渉を重ね、在阪セメント11社とのセメント納入に関する確認書が1982年11月30日成立しました。

2. 卸協同組合との関係では、手形でなく現金決済にするようになりまし

Kinbara

近畿バラセメント輸送協同組合

近畿圏のセメント輸送ネットワークで

安全・効率化に貢献します。
Kinbaraは安心のマーク

理事長 毛屋 和 重

地域アソシエーションの芽(33)

京都大学名誉教授
国際経済労働研究所所長

本 山 美 彦

株価資本主義を克服する途(3)

辛い闘争に携わっておられる諸氏の中には、細かいことにこだわる私の文章への反発をお持ちの方もいらっしゃるかと、私はいつも気にしている。

しかし、現在の混迷を打破する究極の方途は労働者自らが労働現場を



A・W・ジョーンズ

ヘッジファンドの創始者、A・W・ジョーンズ

最初のヘッジファンドは、1949年に、オーストラリアの社会学者でジャーナリストのアルフレッド・ウインズロー・ジョーンズ(1900〜89年)が立ち上げた「A・W・ジョーンズ社」である。当初の運用資金



ニューヨーク証券取引所

は10万ドルであった。彼のファンドは、「ブライベートカンパニー」の形を採った「アマリリオフィス」(少数の内輪の投資家からなる投資組織)である。

「40年法」にも煩瑣な条文の中に抜け穴になりうる短い条項があった。100人未満の投資家で運営される投資会社は、米



キャロル・ルーミス

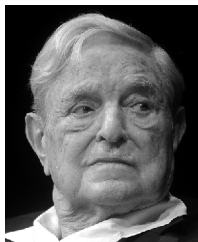
「適格な投資家」または「認定投資家」と判定される場合、投資会社は、同じく、登録要件から除外されるという条項もあった。

うものがあつた。これは、投資会社の設立を抑制するものであつた。通称「40年法」と呼ばれているこの条文の複雑さに煩わされて、多くの企業は投資会社の設立に消極的であつた。

しかし、どのような厳しい法律でも、解釈の仕方によっては、抜け穴がある。

「近年で最も優秀なプロの投資マネジャーは、アルフレッド・ウインズロー・ジョーンズである」という書き出しから初めて、1965年の会計年度の締め日である5月1日までの5年間に彼のファンドが32.5%という高い収益率を挙げたことは、ウォール街の奇蹟と囃されていると続けた。期間を10年で取れば、同社は67.0%という、とてつもない高い

収益率を示していた。この記事が投資会社に与えた影響は巨大なものであつた。記事が発表された直後の3年間(1967〜70年)で少なくとも130のヘッジファンドが新規に設立されたのである。こうした新規の会社の中



ジョージ・ソロス

反社会主義を実践する

ジョージ・ソロス

ジョージ・ソロス(1930年〜)の「クオンタム・ファンド」や「マイケル・スタインハート」(1940年〜)の「スタインハート・パートナーズ」等々の巨大ヘッジファンドが成長してきたのである。

諸島にオーナー会社グループ「クオンタム・グループ・オブ・ファンド」を設立した。グループ各社は、司令塔の「ソロス・クオンタム・ファンド」からの指示に従っている。

「ソロス・クオンタム・ファンド」の株主の名は非公開であるが、1973年の設立時には「ロスチャイルド一族」が多額を出資したと噂されている。

「ソロス・クオンタム・ファンド」は、1992年には、英国政府の為替介入に對抗して英ポンドの空売りを行ない、15億ドルとも言われる利益を得た。98年、その規模(運用資産において世界最大のヘッジファンドになった。2003年、ソロスからの圧迫を拒否できなかった当時の大統領を辞任に追い込んだ暴力を伴わない革命)等々の反権力闘争を支援してきた。

旧社会主義的国家だけでは足りない。いまや、世界中の市民が、巨大ファンドによって、鼻面を取られて引き回されているようになっている。この風潮から逃れる地域コミュニティの設立が緊急の課題なのである。

提言

~投稿歓迎~

・政治家が 利権に走れば 国滅ぶ
(アルプスの少女ハイチ)
・十万人は コロナ失政の 隠れ蓐 (小林 一 首)

権力の座にある者が私利私欲に走ればその組織が腐敗するのは当然で、そのとばつちりを受けのけるは一般国民です。国民が望んでいるのは速やかなコロナの収束であつて、選挙の票目当てのバラ撒きではないはず。

社会資本政策研究会

〒533-0032 大阪市東淀川区淡路三二一六三
電話 (〇六) 四八六二一四〇二二
FAX (〇六) 四八六二一四〇二三

渡辺千賀子 アソシエ後援会

〒533-0032 大阪市東淀川区淡路三二一六三
電話 (〇六) 四八六二一四〇二二
FAX (〇六) 四八六二一四〇二三

サンセイ生コンクリート株式会社

代表取締役 稲村 義昭
〒651-1412 兵庫県西宮市山崎町下山口六五
電話 (〇七八) 九〇四一三六九
FAX (〇七八) 九〇四一三〇七

関西生コン関連経営者会

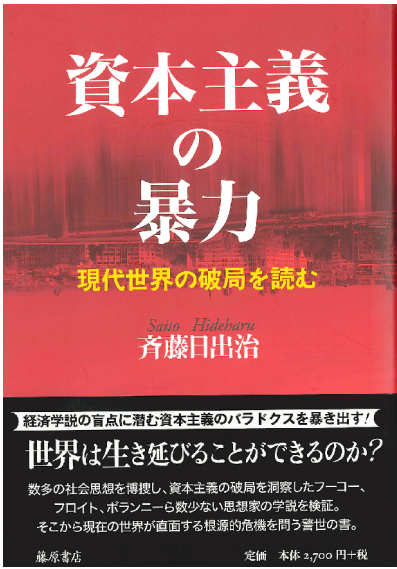
関連団体 K U 体を支援する会

著者を語る

『資本主義の暴力ー現代世界の破局を読む』
齊藤日出治（大阪労働学校・アソシエ学長）
藤原書店 2700円(税別) 全国書店、通販サイトで好評発売中

この世界は、いま経済という名の戦争状態に突入している。民衆はこの戦争に対して、みずからを防御する戦争を組織し、みずからを国家に抗する「戦争機械」(ドゥルーズ／ガタリ)として鍛え上げることと求められる。ひとびとをシステム・リスクにさらし、社会を破局に追いやる力と、協同と連帯によつてそのリスクに立ち向かう力とがせめぎ合う戦争が、階級闘争の主戦場としてそのすがたをあらわす。わたしたちは、社会のいたるところで、多様で広範にシステム・オルタナティブの運動を創出して、戦場に生きる闘士であることを自覚しなければならぬ。とりわけ、パンデミックが生み出した破局的な社会状況は、ひとびとにその自覚を喫緊の課題として迫っている。(本書「あとがき」より)

昨年刊行された本書は、現在の世界が直面する根源的危機を問う警世の書である。著者の齊藤日出治氏が語る社会への警鐘とは。



資本主義の暴力

現代世界の破局を読む

Saito Hideo 齊藤日出治

経済学説の盲点に潜む資本主義のパラドクスを暴き出す！

世界は生き延びることができるのか？

数多の社会思想を博覧し、資本主義の破局を洞察したフーコー、フロイト、ボランニエーら数少ない思想家の学識を検証。そこから現在の世界が直面する根源的危機を問う警世の書。

藤原書店

定価 本体 2,700 円＋税

はまるでこの暴力の果てに自己の消滅に向かつて突進しているかのようである。本書で問おうとするのは、ほかでもない、みずからが築き上げてきた資本主義という経済システムに起因する人類と地球の破局現象を、この経済システムの根源に立ち入つて究明することである。経済とは、外面的には市場における財やサービスの自由で平等な取引から成り立っている。そのために、その活動は戦争や暴力とはまったく無縁で、

を不可能にするほどの温暖化と異常気象、頻発する自然災害。これらの暴力性をはらんだ社会自然の諸現象は、わたしたちの精神や身体や自然や社会諸関係を組織している同じ仕組みに起因しているのではないか、そんな思いがしだいにひとびとの脳裏に浮かび上がってきている。

1 市場経済が呼び起こす

全体主義(序章)

二〇二一年の東京電力福島原発の炉心溶融事故はなぜ起きたのか。原子力発電とは、人を大量に殺害する核兵器のエネルギー源である原子力を産業に利用することである。同じ仕組みとはいっても、原子力を市場で取引される商品にすることで、原子力発電という商品は、その内部に核兵器と変わることのない恐るべき暴力を秘めている。

2 植民地犯罪を内面化した戦後日本資本主義(第Ⅱ部)

このような商品が安全神話の名において巨大なリスクを抱えて市場で取引され、さらにリスク管理のために全体主義的な監視や統治を呼び起こす。そして、ひとたび炉心溶融事故が起れば、核戦争と同規模の惨状を引き起こす。市場経済はこのようにそのシステムの内面に戦争と変わることのない暴力を内包している。政治学者の藤田省三は、これを「市場経済全体主義」と呼んだ。

戦後日本は、戦前の植民地支配や侵略戦争と決別して、平和国家と市場経済にもとづく経済成長の体制をうち立てたかのように考えられている。だが、戦後になつても、日本社会はアジア太平洋の各地で、そして日本の国内で、戦前に犯した侵略犯罪や植民地の民衆に対する虐殺・虐待・人権蹂躪と向き合うことはなかった。

いまだにアジア太平洋の各地で、日本が犯した犯罪の犠牲者の遺骨が地中に埋められている。

3 関東大震災の朝鮮人・中国人虐殺はなぜ起きたかー流言飛語と株式市場(第Ⅲ部)

一九三三年九月の関東大震災に際して数千人とも言われる朝鮮人・中国人が日本の警察と関東の地域住民によつて惨殺された。「朝鮮人が井戸に毒を入れた」という流言飛語がそのきっかけであった。他者に憎悪の記号を張り付けて死に至らしめるほどの暴力を振るう群衆心理は、いったいどこから発生するのであるか。

【著者紹介】齊藤日出治(さいとうひではる) 1945年生。名古屋大学大学院経済学研究科博士課程満期退学。専攻：社会経済学、現代思想。経済学博士。大阪産業大学経済学部教授を経て、大阪労働学校・アソシエ学長。著書に、『物象化世界のオルタナティブー現代資本主義と言語・情報・記号』(昭和堂、1990)、『ノマドの時代ー世紀末のヨーロッパと日本』(大村書店、1994)、『帝国を越えてーグローバル市民社会論序説』(大村書店、2005)、『国家を越える市民社会ー動員の世紀からノマドの世紀へ』(現代企画室、1998)、『空間批判と対抗社会ーグローバル時代の歴史認識』(現代企画室、2003)、『グローバル化を超える市民社会ー社会的個人とヘゲモニー』(新泉社、2010)、『グローバル資本主義の破局にどう立ち向かうかー市場から連帯へ』(河合ブツクレット、2018)、『都市の美学ーアーバンイズム(これからの世界史13)』(岩永真治と共著、平凡社、1996)がある。他にも編著、共著あり。



うか。このような社会現象は、協同性のつながりから解き放たれ、たがいに分断され孤立化された近代世界の私的諸個人が憎悪の集団心理を唯一の絆としてたがいにつながり、恐るべき暴力を発動するところから発する。つまり、このような暴力は、すぐれて近代的な社会現象なのである。

経済学者のJ・M・ケインズは、株式市場のひとびとの行動のうちに、そのような集団心理によつてのみつながる群衆の行動を読み取った。ひとびとが株を買う判断をするとき、自分の理性にしたがって株を売買するのではなく、ほかのみんながどの株を買うのかに注目する。株式市場とは、群衆心理によつて組織された市場なのである。関東大震災の虐殺は、一〇〇年が経過しようとするこんにちでもなお、なかつたかのような主張が世論を支配し、同時に、「朝鮮人殺せ」というヘイトスピーチが日本の社会を席巻している。本書は、以上のようにして市場と資本主義の経済システムがそのうち

【おとうわり】「大津地裁裁判報告」は前号で掲載となりました。長らくのご愛読ありがとうございました。

アンケートご協力をお願い

平素、「提言」読者の皆様にはお世話になり、厚く御礼申し上げます。『提言』編集部では、よりよい紙面つくりのために広く読者の声をお聞きたいと考えております。つきましては、ご多忙の事とは存じますが、皆様にアンケートのご協力の程をお願い申し上げます。ご回答いただけます場合は、同封のアンケート用紙に記入の上、ファクシミリで返信いただくか、もしくはホームページのアンケート記入フォームからご回答をお寄せください。
(http://www.kumaisouken.com/questionaire/questionaire.html)

